

再公示：次の案件については、7月16日に公示しましたが、応募がなかったため再公示いたします。

番号：140543

国名：モロッコ

担当：農村開発部畑作地帯課

案件名：アブダ・ドゥカラ灌漑地域における灌漑システム向上プロジェクト中間レビュー調査(評価分析)

1 担当業務、格付等

- (1) 担当業務：評価分析
- (2) 格付：3号～4号
- (3) 業務の種類：調査団参团

2 契約予定期間等

- (1) 全体期間：2014年8月中旬から2014年10月中旬まで
- (2) 業務 M/M：国内 0.50M/M、 現地 0.70M/M、 合計 1.20M/M
- (3) 業務日数：

準備期間	現地業務期間	整理期間
5日	21日	5日

3 簡易プロポーザル提出部数、期限、場所

- (1) 簡易プロポーザル：1部
- (2) 見積書提出部数：1部
- (3) 提出期限：2014年8月6日(12時まで)
- (4) 提出方法：専用アドレス (e-propo@jica.go.jp) への電子データの提出又は郵送(〒102-8012 東京都千代田区二番町5番地25二番町センタービル) (いずれも提出期限時刻必着)

※2014年2月26日以降の業務実施契約(単独型)公示案件(再公示含む)より、電子媒体による簡易プロポーザルの提出を本格導入しています。

提出方法等詳細についてはJICAホームページ(ホーム>JICAについて>調達情報>お知らせ>「コンサルタント等契約における業務実施契約(単独型)簡易プロポーザルの電子提出本格導入について」

(http://www.jica.go.jp/announce/information/20140204_02.html)をご覧ください。なお、JICA本部1階調達部受付での受領は廃止しておりますので、ご持参いただいても受領致しかねます。ご注意ください。

4 簡易プロポーザル評価項目及び配点

(1) 業務の実施方針等：

- ①業務実施の基本方針 8点
- ②業務実施上のバックアップ体制等 2点

(2) 業務従事予定者の経験能力等：

- ①類似業務の経験 45点
- ②対象国又は同類似地域での業務経験 9点
- ③語学力 18点
- ④その他学位、資格等 18点

(計100点)

類似業務	各種評価調査
対象国／類似地域	モロッコ／全途上国
語学の種類	英語

5 条件等

(1) 参加資格のない社等：

本調査の対象である有償勘定技術支援附帯プロジェクトにおいて専門家業務に携わった法人及び個人は本件への参加を認めない。

(2) 必要予防接種：なし

6 業務の背景

モロッコでは、農耕可能地域の大部分は乾燥もしくは半乾燥地域で、天水に依存している農業地域では、しばしば干ばつによって大きな被害を受け、降雨量の多寡が農業生産量を左右してきた。更に、工業用水及び上水需要の伸びが予測される中、限られた水資源を効果的・効率的に活用するために灌漑施設を拡充させることが急務となっていた。

上記背景のもと、モロッコ政府はアブダ・ドゥカラ平野に灌漑施設整備を計画し、第1期でアフリカ開発銀行、欧州投資銀行、アラブ社会経済開発基金の資金援助により16,000haの灌漑施設が整備され、第2期では我が国の円借款事業「アブダ・ドゥカラ灌漑事業」(L/A1996年、事業完了2001年、実行額134.26億円)により19,000haの灌漑施設が整備された。円借款事業による施設の完成後、水資源の効果的な利用や農業生産の安定と収量の増加による農民の生計向上に大きな期待が寄せられていた。

しかしながら、2006年に実施された事後評価では計画灌漑面積が十分に達成されていないことが指摘された。また、2010年に実施された事後現況調査においては、灌漑面積の拡大に進展があったものの必要な用水量が確保されず、特に夏期(乾季)での灌漑が円借款事業時に想定した灌漑面積を達成していないこと、水利費に見合う高収益性作物の導入ができていない等、農家収益の向上に向けて灌漑施設の効果的な利用にかかる更な

る改善が必要となっていることが指摘された。

このため、2010年8月、モロッコ政府は円借款で整備した灌漑施設を効果的に利用するため、我が国に対して技術支援を要請した。JICAは、円借款によって建設された灌漑施設の効果的な利用と農家の生計向上とを目指した取り組みの必要性や可能性を検討し、農業・漁業省地方インフラ・灌漑局(中央レベル)及びドウカラ地方農業開発公団(以下、ORMVAD)(現場レベル)をカウンターパート(C/P)機関として、2011年7月から2016年7月までの5年間の計画で円借款附帯プロジェクト「アブダ・ドウカラ灌漑地域における灌漑システム向上プロジェクト」(以下、「本プロジェクト」)を実施中である。現在、3名の長期専門家(「チーフアドバイザー」、「灌漑技術」、「業務調整」専門家)を派遣している。

今回実施の中間レビュー調査では、本プロジェクトの目標達成度や成果等を分析するとともに、プロジェクトの残り期間の課題及び今後の方向性について確認し、評価報告書に取りまとめることを目的とする。

7 業務の内容

本業務従事者は、プロジェクトの協力について当初計画と活動実績、計画達成状況、評価5項目(妥当性、有効性、効率性、インパクト、持続性)を確認するために、必要なデータ・情報を収集・整理し、分析する。なお、JICA 事業評価における評価基準、手続きについては、監督職員より情報提供を行う。

具体的担当事項は次のとおりとする。

(1) 国内準備期間(2014年8月中旬～2014年9月上旬)

- ①既存の文献・報告書等(事業進捗報告書、業務完了報告書、合同調整委員会議事録、専門家報告書、活動実績資料等)をレビューし、プロジェクトの実績(投入、活動、アウトプット、プロジェクト目標達成度等)・実施プロセスを整理、分析する。
- ②既存のPDMに基づき、プロジェクトの実績、実施プロセス及び評価5項目ごとの調査項目とデータ収集方法、調査方法等を検討し評価グリッド(案)(和文・英文)を作成する。また、既存のデータ・情報と現地で入手・検証すべき情報を整理する。
- ③上記の評価グリッド(案)に基づき、プロジェクト関係者(プロジェクト専門家、C/P機関)に対する質問票(案)(英文)を作成する。
- ④調査団内の検討のため、評価グリッド(案)を用いて評価デザイン(案)を検討する。
- ⑤国内で収集可能なデータを整理、分析する。
- ⑥対処方針会議等に参加する。

(2) 現地派遣期間(2014年9月上旬～2014年9月下旬)

- ①JICA モロッコ事務所等との打合せに参加する。

- ②プロジェクト関係者に対して、本中間レビューの評価手法について説明を行う。
 - ③上記（１）②で作成した評価グリッドに基づき、事前に配布した質問票を回収・整理するとともにプロジェクト関係者に対するヒアリング等を行い、プロジェクト実績(投入、活動、アウトプット、プロジェクト目標達成度等)・活動プロセス等に関する情報・データの収集・整理を行う。
 - ④収集した情報・データを分析し、プロジェクト実績の貢献・阻害要因を抽出する。
 - ⑤国内準備作業並びに上記③及び④で得られた結果をもとに、他団員及びモロッコ国 C/P とともに評価 5 項目の観点から評価を行い、合同レビュー報告書(案)(英文)の取りまとめに協力する。
 - ⑥調査結果、他団員、プロジェクト専門家及びモロッコ国 C/P からのコメント等を踏まえた上で、PDM 及び PO の修正案(和文・英文)の取りまとめに協力する。
 - ⑦合同レビュー報告書(案)に関する協議に参加し、協議を踏まえて同案を修正し、最終版の作成に協力する。
 - ⑧協議議事録(M/M)(英文)の作成に協力する。
 - ⑨担当分野に係る現地調査結果を JICA モロッコ事務所等に報告する。
- (3) 帰国後整理期間(2014 年 10 月上旬～2014 年 10 月中旬)
- ①評価調査結果要約表(案)(和文・英文)の作成に協力する。
 - ②帰国報告会に出席し、担当分野に係る報告を行う。
 - ③担当分野の調査結果を取りまとめ、中間レビュー調査報告書(案)(和文)の担当分野のドラフトを作成する。

8 成果品等

業務の実施過程で作成、提出する報告書等は以下のとおり。

なお、本契約における成果品は（２）～（３）とし、電子データをもって提出することとする。

- (1) 合同レビュー報告書（案）（英文）
- (2) 担当分野に係る中間レビュー調査報告書（案）（和文）
- (3) 評価調査結果要約表（案）（和文・英文）

9 見積書作成に係る留意点

本公示の積算を行うにあたっては、「JICA コンサルタント等契約見積書作成の手引き」

(<http://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/quotation.html>)

を参照願います。留意点は以下のとおり。

- (1) 航空賃及び日当・宿泊料等

航空賃及び日当・宿泊料等は契約に含めず、当機構より別途支給します（見積書の航空賃及び日当・宿泊料等欄には0円と記載下さい）。

10 特記事項

(1) 業務日程／執務環境

①現地業務日程

本業務従事者の現地調査期間は2014年9月7日～2014年9月27日を予定しています。また本業務従事者は、当機構の調査団員に1週間先行して現地調査を開始します。

②現地での業務体制

本業務に係る調査団構成は、以下のとおりです。

- ア) 総括 (JICA)
- イ) 計画管理 (JICA)
- ウ) 灌漑施設維持管理 (農林水産省)
- エ) 評価分析 (コンサルタント)

③便宜供与内容

JICA モロッコ事務所及びプロジェクト専門家チームによる便宜供与事項は以下のとおりです。

ア) 空港送迎

あり

イ) 宿舎手配

あり

ウ) 車両借上げ

全行程に対する移動車両の提供（機構職員等の調査期間については、職員等と同乗することとなります。）

エ) 通訳備上

英語⇄仏語の通訳を提供

オ) 現地日程のアレンジ

現地ヒアリング調査のスケジュールアレンジ及び長期専門家及びC/Pの同行

カ) 執務スペースの提供

プロジェクトオフィス内の執務スペース提供（ネット環境完備）

(2) 参考資料

①本業務に関する以下の資料を当機構農村開発部畑作地帯課（TEL:03-5226-8424）にて配布します。

- ・2012年2月実施運営指導調査 M/M(Minutes of Meeting)

②本プロジェクトに関する以下の資料が JICA ナレッジサイト（<http://gwwweb.jica.go.jp/>）で公開されています。

- ・プロジェクト事前評価表
- ・プロジェクト R/D(Record of Discussion)

③本プロジェクトに関する以下の資料が JICA 図書館

（<https://libportal.jica.go.jp/fmi/xsl/library/public/Index.html>）で公開されています。

- ・モロッコ王国 「アブダ・ドゥカラ灌漑事業」円借款附帯プロジェクト詳細計画策定調査(Ⅰ)報告書
- ・モロッコ王国 アブダ・ドゥカラ灌漑地域における灌漑システム向上プロジェクト詳細計画策定調査(Ⅱ)報告書

（3）その他

①業務実施契約（単独型）については、単独（1名）の業務従事者の提案を求めている制度ですので、複数の業務従事者によるプロポーザルは無効とさせていただきます。

②仏語による業務実施能力があれば望ましいです。

③モロッコ国内での作業においては、JICA 安全管理措置を遵守するとともに、JICA 総務部安全管理室、JICA モロッコ事務所の指示に従い、十分な安全対策措置を講じることとする。

以上